

# 茶摘み ちやつ

1

夏も近づくはちじゅうはちや  
野にも山にも若葉が茂る  
あれに見えるは茶摘みじゃないか  
あかねだすきに菅の笠

2

日和つづきの今日このごろを  
心のどかに摘みつつ歌う  
摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ  
摘まにや日本の茶にならぬ



# あめふり



あめあめ ふれふれ かあさんが じゃのめでおむかえうれしいな  
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン

かけましょ かばんを かあさんの あとからゆこゆこかねがなる  
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン

あらあら あのこは ずぶぬれだ やなぎのねかたでないている  
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン

かあさん ぼくのをかしましよか きみきみ このかささしたまえ  
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン

ぼくならいいんだ かあさんの おおきなじゃのめに はいってく  
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン

なつ おもいで

# 夏の思い出

1 夏なつが来くれば 思おもい出だす はるかな尾瀬おぜ とおい空そら

霧きりのなかに うかびくる やさしい影かげ 野のの小路こみち

水芭蕉みずばしょうの花はなが咲さいいている 夢見ゆめみて咲さいいている水みずのほとり

石楠花しゃくなげ色いろに たそがれる はるかな尾瀬おぜ 遠い空とおいそら

2 夏なつが来くれば 思おもい出だす はるかな尾瀬おぜ 野のの旅たびよ

花はなのなかに そよそよと ゆれゆれる 浮うき島しまよ

水芭蕉みずばしょうの花はなが匂におっている 夢見ゆめみて匂におっている水みずのほとり

まなこつぶれば なつかしい はるかな尾瀬おぜ 遠い空とおいそら

